



虚血性心疾患の最近の話題



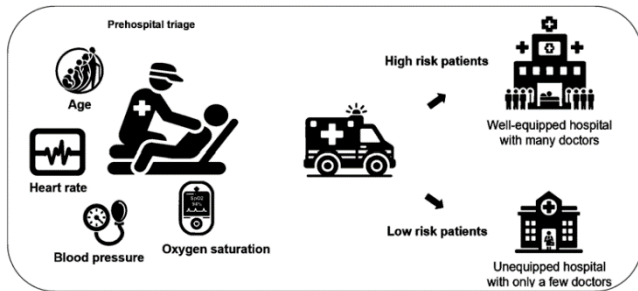
循環器内科
准教授 栗田 泰郎

三重 ACS レジストリよりひも解く、 最近の心筋梗塞診療

三重県では 2013 年より、急性冠症候群の全例登録事業である三重 ACS レジストリを行っております。累計登録患者は 1 万人を超えております。急性冠症候群の診療を、(1)救急隊による搬送などの病院前 → (2)病院での治療 → (3)退院後のマネージメント・二次予防の時間軸でわけて考えてみたいと思います。

(1)救急隊による搬送などの病院前トリアージなど

病院前バイタルサインを用いた急性心筋梗塞患者のリスクの層別化

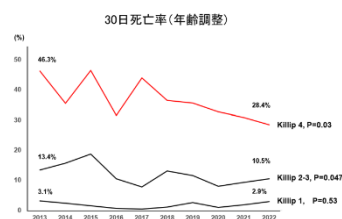


Kuriita T, Dohi K, Circ J 2025; 89: 1833

病院前バイタルサインを用いて、病院前トリアージが可能となりました。今後は病院前 12 誘導心電図の AI 解析・診断などに取り組んでいく予定です。

(2) 病院での治療

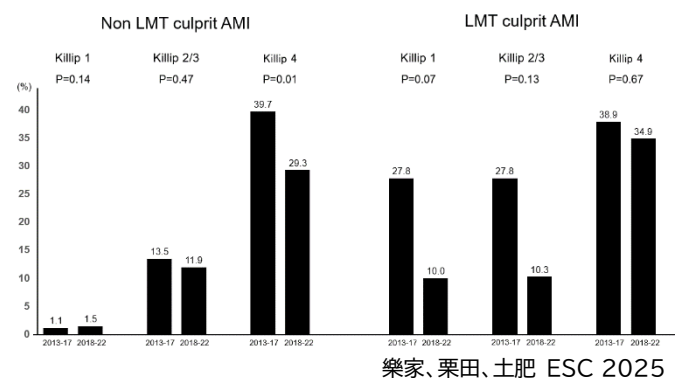
心筋梗塞患者の予後の改善



栗田、栗田、土肥 ESC 2026

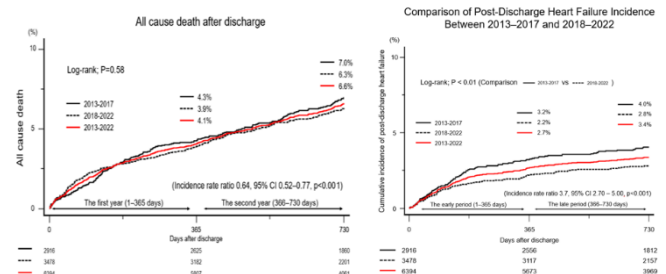
上記のように、この 10 年で Killip4 重症心筋梗塞患者への緊急 PCI 率は上昇し、30 日予後も改善しています。

しかし、下記のように LMT を責任病変とした急性心筋梗塞患者の予後の改善は芳しくありません。LMT culprit AMI 患者の予後の改善のために LMT culprit AMI PCI+MCS の統一プロトコル作成をしております。



栗田、栗田、土肥 ESC 2025

(3) 退院後のマネージメント・二次予防



栗田、栗田、土肥 ESC 2026

上記のグラフのようにこの 10 年間、退院後の AMI 患者の生命予後の改善は認めておりません。しかし、退院後の心不全の発生率は薬物療法の浸透にて低下しており、今後の死亡率の低減が期待されます。今後は、退院後の患者のリスクの層別化を施行し、高リスク患者に対する治療強化を目指していく予定です。

新病棟医長ご挨拶



循環器内科
助教 佐藤 徹

この度、令和8年4月1日付で病棟医長を拝命いたしました佐藤徹（2013年卒）と申します。日頃より多大なご指導ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私は2013年に三重大学を卒業し、桑名東医療センター（現桑名市総合医療センター）で初期研修、後期研修（循環器内科）をさせていただきました（後期研修開始時に第一内科へ入局）。その後、3ヶ月間の尾鷲総合病院内科勤務を経て、2018年7月より三重大学で勤務させていただいております。

三重大学では、肺循環チームの一員として、肺高血圧症・静脈血栓塞栓症（肺塞栓症、深部静脈血栓症）領域の臨床・研究を中心に行っております。

肺高血圧症に関しては、労作時息切れといった非特異的な主訴で来院されることも多く、早期診断が困難なケースも

散見されます。またその病因・病態も様々で詳細な病型診断が重要な疾患でもあります。息切れの原因がはっきりしないといった患者様を含めたご紹介を何卒よろしくお願い申し上げます。静脈血栓塞栓症に関しても、がん関連静脈血栓塞栓症など循環器内科以外の診療科の患者様で発症し、複数診療科での連携が必要なケースも増えております。また近年では、静脈ステント、血栓吸引・血栓除去デバイスの使用が可能となり、従来の抗凝固療法に加え、治療の選択肢が広がっている分野のひとつです。

上記は一例ではありますが、様々な診療分野で治療の進歩がみられる現在、病棟医長を務めさせていただくにあたり、引き続き密で細やかな病診連携が大切と考えております。そのため、病棟医長携帯（070-2248-2684）の運用を継続しております。当院へのご紹介、患者様のご相談（どの医師の外来へ紹介したら良いか？といったことも含め）、是非お気軽にご相談いただけましたら幸いです。

最後に、関係者の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

ワンポイントレクチャー 移行期医療について



循環器内科
助教 荻原 義人

移行期医療とは、先天性心疾患や神経疾患などの小児期慢性疾患をもつ患者さんが、成人期以降も適切な医療を継続して受けられるよう、小児科から成人の各診療科への円滑な橋渡しを行う医療です。

これには、医療機関同士の連携に加え、福祉との連携も含まれます。実際には、小児科から成人診療科へ紹介状を一通持って受診するだけでは、十分な診療連携につながらないことも少なくありません。そのため、患者さん自身が病気や治療内容を理解し、自ら健康管理ができるよう支援するとともに、県内の医療機関同士の連携体制を構築していくことが重要です。

現在、行政と連携してプロジェクトを進めており、医師だけでなく、県職員さん、看護師、医療ソーシャルワーカー、コーディネーターなど多職種で取り組んでいます。

今後は、地域の開業医の先生方との連携もさらに深め、日常診療、併存疾患への対応、継続的な見守りを含めた診療体制を充実させていきたいと考えています。地域全体で支えることが、小児期慢性疾患をもつ患者さんの自立と生涯にわたるより良い医療につながると考えています。

移行期医療学講座 HP



<https://web.hosp.mie-u.ac.jp/transitional-care/>

三重大学病院循環器内科、腎臓内科

～患者様をご紹介ください～

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」「診療情報提供書」をFAX：059-231-5541へお送りください。

※「診療予約申込書」は三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可です。



2. 緊急受診、ご相談等

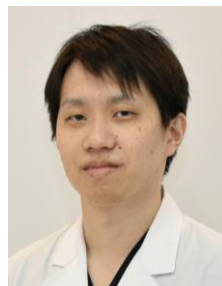
循環器、腎臓内科救急ホットラインへお電話下さい。病棟医長が直接対応させていただきます。



循環器内科 講師 辻 明宏

2000年に三重大学医学部を卒業いたしました辻 明宏と申します。2012年より三重を離れ、大阪の国立循環器病研究センターにて、主に肺高血圧症、静脈血栓塞栓症、先天性心疾患の診断および治療に携わってまいりました。このたび、土肥教授のご厚意により、再び三重県で勤務する機会をいただき、大変嬉しく思っております。

1年間、永井病院にて診療に従事した後、2026年4月より久しぶりに大学病院で勤務させていただくこととなりました。これまでの経験を活かし、地域医療および診療・研究の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



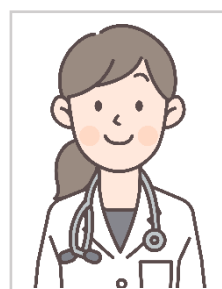
循環器内科 医員 西田 圭吾

2019年に三重大学医学部を卒業後、三重県立総合医療センターで合計6年間勤務し、2026年4月より3年ぶりに三重大学医学部附属病院での勤務となりました。より良い医療を提供できるよう日々研鑽を積んでいきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。



循環器内科 医員 貝沼 大輝

令和2年卒の貝沼大輝です。本年度より大学院生として、大学病院での勤務となりました。重症心不全分野を中心に勉強させていただきながら、患者様に少しでも安心してもらえるような診療ができるよう全力で頑張ります。何卒よろしくお願い致します。



循環器内科 医員 多田 智子

令和2年卒の多田智子と申します。令和8年4月より三重大学医学部附属病院で勤務させていただいております。大学院生として心エコーによる循環動態評価をもとに、研究に取り組んで参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



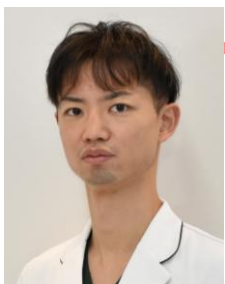
循環器内科 医員 黒田 修平

2020年卒の黒田修平と申します。卒業後は鈴鹿中央総合病院での勤務を経て2026年4月より三重大学医学部附属病院で勤務をさせていただいております。微力ではありますがこれからも三重県の医療に尽力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



循環器内科 医員 樂家 僚亮

医師7年目の樂家僚亮（らくかりょうすけ）と申します。大学院生として、このたび大学病院へ戻ってまいりました。PCI、EVT、TAVIなどのインターベンションを中心に、診療および学術活動に積極的に取り組みたいと考えております。ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



循環器内科 医員 辻 祐樹

2022年三重大卒の辻祐樹と申します。卒業後は初期研修から含めて4年間、桑名市総合医療センターで勤務しておりました。この度、2026年4月より三重大大学病院にて勤務することとなりました。今後は大学病院においてさらなる研鑽を積み、三重県の医療に貢献できるよう努めてまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科 医員 酒井 唯梨

2022年卒の酒井唯梨と申します。卒業後は名張市立病院、鈴鹿回生病院で勤務し、2026年4月より三重大大学病院で勤務させていただいております。患者さまの医療に貢献できるよう精一杯精進したいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来：059-231-5146 病棟：059-231-5101
FAX：059-231-5518 研究棟：059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。
季刊誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。naika1@med.mie-u.ac.jp

		循環器内科 腎臓内科 外来担当医表				
		月	火	水	木	金
循環器	初診	土肥 薫 伊藤正明 栗田泰郎	藤本直紀 原田慎一	高血圧外来 (岡本隆二) 香川芳彦 腫瘍循環器外来 (坂東泰子) (市川瑞貴)	杉浦英美喜 北野哲司 腫瘍循環器外来 (坂東泰子) 重症心不全外来	荻原義人 市川瑞貴 中森史朗
	再診	伊藤正明 栗田泰郎 森脇啓至 岡本隆二 大森 拓 高崎亮宏 藤本直紀 石山将希 P-メカ外来	荻原義人 土肥 薫 中森史朗 原田慎一	岡本隆二 香川芳彦 腫瘍循環器外来 (市川瑞貴)	杉浦英美喜 北野哲司 西田圭吾 桐井陽祐 腫瘍循環器外来 (坂東泰子) 辻明宏 重症心不全外来	荻原義人 中森史朗 佐藤 徹 香川芳彦 水谷花菜 腫瘍循環器外来
腎臓	初診	齋木良介	村田智博	山脇正裕	片山 鑑	森睦貴
	再診	片山 鑑	山脇正裕	齋木良介 山脇正裕	休 診	村田智博 森睦貴

心不全管理アプリ「ハートサイン」のご案内

・ハートサインとは

日々の体重や血圧、症状などを記録する心不全管理のためのアプリです。
従来の心不全手帳と異なり、「アラート」機能が搭載されております。



・アラートとは

入力された生体情報、症状を元に心不全増悪のアラートを出し、早期受診を促します。



ホワイト：状態安定

イエロー：数日以内の受診

レッド：可能な限り早く受診

- ・「アラート」により患者様が受診された際は心不全増悪を念頭に**通常通りの診療**をお願いします。必要に応じて高次医療機関への紹介をご検討ください。
- ・大学病院と県下の関連病院で臨床研究（ハートサイン vs. 心不全手帳）を進めております。



ハートサイン事務局（平日9時～16時）
TEL：059 - 232 - 1111（代）
ハートサインHP：https://heart-sign.jp

連絡先
三重大学医学部大学院 循環器腎臓内科学
森洋樹